

## 社会福祉学研究科 心理臨床専攻 修士課程

心理臨床専攻 修士課程は、医療・福祉・教育・産業・司法領域において、社会福祉を理解した心理臨床の専門職を育成することを目的としています。

心理臨床の援理論と実践教育・研究指導および社会福祉学に関する教育を通じて、幅広い視点から問題解決に取り組むことができる心理臨床の実践力を身につけることを目標としています。

### 1. 研究科の概要

課程名称： 社会福祉学研究科 心理臨床専攻 修士課程

授与学位： 修士（心理臨床） Master of Clinical Psychology

開講形態： 夜間開講

定員： 10名

### 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

心理臨床専攻 修士課程は、次に該当する者に修士（心理臨床）の学位を授与します。

#### 知識・理解

- ・臨床心理とその近接領域における十分な専門知識を備えている。
- ・今日問題となっている心理臨床上の諸問題について、その概要を理解し、心理ならびに近接領域の専門家と議論をおこなうことができる。

#### 思考・判断

- ・心理学的な諸問題について、適切な問題意識のもとに研究を計画することができる。
- ・研究遂行のための知識、ならびに理解力を備えており、先行文献を探索し読解することができる。
- ・自らの研究成果を整理し、適切に開示することができる。

#### 臨床技能

- ・心理臨床の基礎となる対人関係能力をふまえ、適切な態度で臨床場面にのぞむことができる。
- ・クライアントの抱える心理的問題を見立て、心理療法的に接近することができる。

#### 態度

- ・臨床ならびに研究の遂行において必要となる倫理的諸問題について理解している。

### 2. 研究科の特徴

#### 1) 夜間制大学院

本専攻の主な科目（学外実習を除く）は、平日の夜間 [6限（18：25～19：55）、7限（20：05～21：35）] や土日（集中講義など）に開講されているため、働きながら学ぶことが可能です。

大学で心理学を学びさらに臨床心理学を深く学びたいと考えている学生と社会人が一緒に学んでいます。

#### 2) 公益財団法人 日本臨床心理士資格認定協会の第1種指定大学院

公益財団法人 日本臨床心理士資格認定協会の第1種指定大学院であるため、本専攻を修了することで臨床心理士資格試験受験資格を得ることができます。

#### 3) 公認心理師対応カリキュラムの開講

2018年度より公認心理師対応カリキュラム（「大学院における必要な科目」）を開講しています。

#### 4) 心理臨床に関連する福祉系科目を学ぶ

社会福祉関係選択推奨科目である「ソーシャルワーク論」「精神保健福祉論」「福祉サービスマネジメント概論」など、心理臨床に関連する福祉系科目を学ぶことができます。

### 3. カリキュラム

#### 教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

心理臨床専攻修士課程では、医療・福祉・教育・産業・司法領域において、社会福祉を理解した心理臨床の専門職を育成することを目的として、以下のとおり、講義系科目、実習科目、研究指導科目の3つの科目群で教育課程を編成し、実施します。

#### 講義系科目

心理臨床に関する基礎や研究を進める上での基礎を学び、心理臨床活動に必要な基礎的知識の修得を目指します。

#### 実習科目

学内の附置研究所および学外の保健医療施設、社会福祉施設、教育施設等での実習を通じて、心理臨床活動の実践的な知識と技術の修得を目指します。

#### 研究指導科目

修士論文執筆を通して、臨床心理学に関する研究遂行能力の養成と複雑な事象を深く理解し、その知見を他者に伝える能力を高めることを目指します。

### 4. 修士学位取得までの流れ

心理臨床専攻の修士学位取得までの流れを紹介します。1年次、2年次の年間スケジュールは以下のとおりです。

年次	時期	修士論文スケジュール	実習の流れ		
			学内実習	学外実習	
1年	5月	研究計画書の提出			
	6月		実習オリエンテーション		
	9月	小論文①の提出 *研究テーマ(仮)の設定 問題意識を明確にし、関連した先行研究を整理する。			1年次後期から一定期間(見学実習を含む)の学外実習を実施
		指導教員の決定、指導の開始			
	10月	中間報告会(発表・質疑応答) *研究の進捗状況の発表			
	2月	小論文②の提出 *研究テーマ(仮)の設定 先行研究、および年間研究成果のまとめ			
3月	社会福祉学研究科 合同修士論文発表会への参加 *修了生の修士論文発表会に参加				
2年	4月	修士学位請求論文執筆計画書の提出			
	6月	中間報告会(発表・質疑応答) *研究と論文執筆の進捗状況の報告		2年次の5月~12月頃迄の間に2施設で、合計20日間以上の学外実習を実施	
	9月	小論文③の提出 *研究の進捗状況と成果のまとめ			
	12月	修士論文の第一次提出			
		修士論文報告会(発表・質疑応答) *最終的な論文指導			
	1月	修士論文の最終提出			
	2月	審査委員会による口頭試問・最終試験			
	3月	課程修了判定結果の通知 社会福祉学研究科合同修士論文発表会での発表 学位記授与			

## 5. 科目群の構造概念図



<参考> 科目の配当年次

= 1年次配当科目

= 2年次配当科目

= 1・2年次配当科目